

平成 25 年度公益社団法人青森観光コンベンション協会事業計画

《基本方針》

東日本大震災以降、国では東北の復興を旗印に様々な視点から各種事業を実施しているものの、観光産業を取り巻く環境は依然として厳しい状況下にあります。

こうした中、平成 26 年度には北陸新幹線金沢駅開業が予定されており、観光客誘致競争は一層激化することから、これまで以上に強力な観光振興対策が求められております。

また、平成 27 年度には北海道新幹線の開業も予定されており、これは第二の青森開業とも捉えられることから、首都圏、東北及び北海道を視野に入れた観光客誘致の展開が必要となっております。

このような情勢の中、青森市では官民一体となった観光振興の推進体制を構築し、更なる交流人口の増加と地域振興を図るために、昨年 5 月 21 日に「青森市観光振興会議」を設置致しました。

この振興会議では、観光ハブ都市青森を目指し「魅力的な広域観光圏の形成」、「新たなマーケットの開発・獲得」、「滞在時間を拡大させる仕組みづくり」、「推進体制の整備」を事業の中心に掲げて活動することとなっており、当協会も振興会議の一員として、責任ある役割を果たしていく所存であります。

「魅力的な広域観光圏の形成」を促進するために、函館国際観光コンベンション協会との連携による青函モデル観光コースの開発や、(仮称)奥津軽駅開業を活かした、津軽地域との連携を強化し観光コースの開発に取り組みます。

次に「新たなマーケットの開発・獲得」を促進するために、コンベンションを含めた MICE (※注 1) 誘致に向け、受入基盤整備及びエクスカーションコースの開発等プロモーションの強化に努めるとともに、教育旅行誘致、韓国及び台湾からのインバウンド誘致に取り組んで参ります。

また「滞在時間を拡大させる仕組みづくり」のために、八甲田丸・A-FACTORY・ねぶたの家ワ・ラッセ・アスパムによるウォーターフロントの四季折々の魅力拡大と、七子八珍、のっけ井や帆立小屋など青森を代表する食文化の魅力創出、世界文化遺産登録を目指す三内丸山遺跡や小牧野遺跡の紹介、八甲田の自然を活かした旅と健康をテーマとする旅行商品の開発、街てくガイドによる街歩きのご案内等の観光コンテンツの充実に取り組んで参ります。

更には、個人旅行者への情報発信が重要となることから、当協会ホームペー

ジ「あおり案内名人」及び「ねぶた祭オフィシャルサイト」の充実に努めるほか、SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス※注2）を活用した情報発信に努めて参ります。

このほか当協会の重点事業と致しましては、青森ねぶた祭の魅力拡大のため、全市をあげた祭りの雰囲気作りの醸成やハネト参加の増加を目指し、関係団体と一致団結し楽しく安全な祭り運行に努めます。

各種指定管理及び受託事業については、「ねぶたの家ワ・ラッセ」の指定管理者としてねぶた祭の保存伝承のため制作者及び囃子方育成に努めるとともに、青森市への教育旅行誘致のため各種体験メニューを充実させ年間有料入館者18万人の目標達成を目指します。

また、「青森市観光交流情報センター」と新青森駅の「あおり観光情報センター」では、来青される観光客の皆様を暖かくおもてなしし、青森観光の玄関口として案内内容の充実に努めます。

平成25年4月1日からは公益社団法人として、責任ある組織運営を行い、青森市、青森商工会議所をはじめ、各種関係機関との連携を密にし、青森市の産業振興並びに経済発展のため、会員及び役職員一丸となり総力をあげて各種事業に取り組んで参ります。

※注1 MICEとは (M) Meeting (会議、研修、セミナー)、
(I) Incentive (招待・優待・視察)、
(C) Convention (大会・学会)、
(E) Exhibition (展示会)
の頭文字をとった造語

※注2 SNSとは social networking service
インターネット上に交流の場を提供するサービス
Facebook、mixiなど

《公益目的事業》

I. 観光振興事業

1. 観光客誘致事業

(1) 観光キャンペーン・誘致セールス事業

青森県、青森市、青森県観光連盟と連携し、各種観光キャンペーン及び教育旅行誘致セールスに参加するとともに、青森市物産協会の観光物産展を支援し、青森市への誘客促進に努める。

- ①首都圏、大宮、仙台における観光キャンペーンへの参画
- ②首都圏、北海道、秋田県、岩手県からの教育旅行誘致セールス
- ③旅行社訪問及び旅行社招聘による青森市への旅行商品開発依頼及び情報収集
- ④青森市物産協会が行う観光物産展への協力
- ⑤東京青森県人会主催の青森人の祭典への参加
- ⑥福島市で開催される東北六魂祭への参画

(2) 外国観光客誘致事業

ソウル定期便を活用した韓国からの観光客誘致と青森・弘前・函館広域連携による台湾観光客誘致に努める。

- ①国際定期路線ソウル便を活用した韓国観光客誘致セールス
- ②青森・弘前・函館広域連携による台湾観光客誘致セールス
- ③外国語表記の推進

(3) 観光振興事業

青森市、青森商工会議所と連携し、重要な観光資源となる各種イベント及び二次交通、増加するクルーズ客船の受入等について積極的に支援協力を行うとともに、北海道新幹線開業を見据えた広域連携による観光商品開発に取り組む。

冬季観光活性化に向けては、ウォーターフロントを中心に青森ならではの雪の街を演出し、青森冬まつり実行委員会と協力し新たな賑わいの創出に取り組む。

- ①冬季観光活性化事業の実施
- ②青函及び県内広域観光商品の開発及び支援
- ③ウォーターフロント及び駅前地区を活用した観光活性化事業の実施
- ④青森市を拠点に奥津軽地区及び下北半島との回遊性を高めるための魅力創出事業の検討並びに協力
- ⑤観光シャトル・ルートバス運行の広報宣伝、運営協力
- ⑥「第7回津軽三味線日本一決定戦」への協力
- ⑦「第8回AOMORI春フェスティバル」への協力
- ⑧「紙と灯りのページェント」への支援協力
- ⑨「旅と健康をテーマとした観光商品開発」支援協力
- ⑩クルーズ客船の誘致及び受入協力

2. コンベンション誘致・支援事業

(1) コンベンション誘致事業

青森市での全国大会・東北大会・学会等の開催を誘致するため、首都圏において誘致活動に努めるとともに、青森県内の団体関係者、大学関係者との連携を密にし、コンベンション開催を強く働きかける。更に、MICE 誘致を視野に受入態勢の整備及びプレゼンテーションの充実強化を図る。

- ①東北地区コンベンション推進協議会合同誘致活動への参画
- ②青森県観光連盟と共同で国際ミーティングエキスポへの出展
- ③コンベンション説明会開催
- ④コンベンション開催支援ガイドの作成、配布
- ⑤MICE 誘致プレゼンテーションツールの作成

(2) コンベンション開催支援事業

青森県及び青森市のコンベンション開催助成金制度の申請窓口としてサポートするほか、歓迎ムードを高めるための歓迎看板や歓迎ポスターを掲示する。更に、コンベンションバッグの販売、郷土芸能の手配、大会・学会運営に必要な備品類の貸出を行う。

- ①窓口相談によるコンベンション助成金の申請サポート
- ②新青森駅、青森駅、空港への歓迎看板設置及び市内商店街、飲食店、コンビニ等でのポスター掲示による歓迎ムードの醸成

③コンベンションバッグの作成、販売、郷土芸能の手配及びコンベンション開催に必要な備品貸出によるサポート

(3) コンベンション誘致活動専門員の配置 (青森市委託予定)

緊急雇用創出事業を利用した専門員 1 名を配置し、コンベンション誘致、情報収集及び開催支援に努める。

配置期間 平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日

3. 情報発信事業

(1) 観光パンフレット事業

観光客誘致及びコンベンションサポートのため、市内ガイドマップ及び飲食店ガイドを作成し、観光キャンペーンや各種コンベンション及び観光案内所等において広く配布する。

①青森市内ガイドマップ「いい旅あおもり」 300,000 部

②飲食店ガイド「食楽青森」 70,000 部

③観光情報データベースの更新

(2) ホームページ運営事業

八甲田を中心とした豊かな自然や、三内丸山遺跡、ねぶた祭等本市の恵まれた観光素材を前面に、ねぶたの家ワ・ラッセや八甲田丸等のウォーターフロント、冬季観光情報等などの観光コンテンツをふんだんに盛り込んだホームページを作成する。更に、SNS (ソーシャルネットワーキングサービス) を活用した最新情報の提供に努める。

①「あおもり案内名人」ホームページの運営

②「ねぶた祭オフィシャルサイト」の運営

③SNS(ソーシャルネットワーキングサービス) 活用の検討、運営

(3) 八甲田・十和田ゴールドライン開通フェア事業

青森の春の観光の幕開けである 4 月 1 日の八甲田・十和田ゴールドラインの開通を全国に PR する。

① 第 24 回八甲田ウォーク 実施時期 3 月 30 日、31 日

(4) 食文化推進事業

「七子八珍」をはじめ、「生姜味噌おでん」、「青森ラーメン」、「すしカーボン」、「のっけ丼」、「帆立小屋」等、青森の豊かな食文化の情報発信に努める。

- ①七子八珍食べある記キャンペーン 実施時期 12月～2月
- ②総合的な食文化の情報発信

(5) 観光案内所運営事業

JR青森駅前の青森市観光交流情報センターと新青森駅のあおもり観光情報センターの運営管理者として、県内の観光客に喜ばれる適切な観光案内に努める。

また、青森市観光交流情報センターでは、青森市の名所、旧跡、名物、地元でこよなく愛されているお店、市民も知らない隠れた魅力などを網羅した散策コースを、観光客が気軽にまち歩きを楽しめるように市民ボランティアと一緒に廻り案内する「あおもり街てく」事業を円滑に運営する。

- ①青森市観光交流情報センター（青森市指定管理者）
指定管理期間 平成25年4月1日～平成30年3月31日
- ②あおもり観光情報センター（青森市委託）

4. 部会活動

観光振興事業を通じて観光客誘致による地域経済の活性化を促進するため、理事会が設置する部会において企画検討を行う。

- ①誘客推進部会
- ②情報化推進部会
- ③七子八珍推進部会

Ⅱ. 青森ねぶた祭事業

1. 青森ねぶた祭実行委員会運営事業

青森市の観光宣伝を行うとともに、地域経済及び文化振興を図るため実行委員会方式により青森ねぶた祭を開催する。

ねぶた祭の健全かつ円滑な運営を図るため、ねぶた祭のPRポスター、パンフレット、交通案内等のチラシの作成、運行コース・運行方法の検討及び参加団体との連絡調整、県内外の観光客受け入れに伴うトイレの設置、観光案内所の運営、ねぶた制作場所の設置、コース・歩道の清掃等を行う。また、観光客の利便性の向上を図るため、観覧席の販売及び駐車場の貸し出しを行う。

(1) 総務委員会事業

- ①ポスター等による広告宣伝
- ②前夜祭並びに安全祈願祭・開会式の実施
- ③ミスねぶたコンテストの開催
- ④写真コンテストの開催
- ⑤まつり本部の設置・運営
- ⑥ラッセランドの設置・運営並びに新ラッセランドの検討
- ⑦魅力拡大のための地域全体の雰囲気作りの醸成

(2) 伝承育成委員会事業

- ①制作後継者によるミニねぶた・中型ねぶたの制作
- ②ねぶた囃子、金魚ねぶた等体験教室の実施
- ③参加団体や地域運行団体への奨励金・助成金の交付
- ④参加団体に対する奨励額の交付
- ⑤ボランティアによるラッセランド内の無料ガイドの実施

(3) 審査委員会事業

- ①大型ねぶたへ各賞の設置及び授与
- ②審査方法の協議

(4) 運行委員会事業

- ①スムーズな運行方法・運行コースの検討
- ②正装ハネト推進運動の実施
- ③ハネト増加対策の検討

- ④本部役員団の運営（休止中）
- ⑤吹き流し運行の継続的な検討

（5） 渉外委員会事業

- ①観光案内所設置・運営
- ②運行コース周辺の清掃美化対策の実施
- ③各種ガイドブックの製作
- ④大型バス・普通乗用車臨時駐車場、誘導看板等の設置
- ⑤観覧席設置並びに観覧者の受け入れ業務
- ⑥周辺事業所へのトイレ開放依頼並びに仮設トイレの設置
- ⑦新しい観覧席設置方法の検討

（6） 海上運行委員会事業

- ①海上運行の実施
- ②台船老朽化対策の検討

2. 青森ねぶた祭保存会の開催

青森ねぶた祭の保存伝承と祭の発展に寄与することを目的として、青森市及び青森ねぶた祭実行委員会に対し、意見、勧告、指導、助言、提言を行う。

開催時期 7月中旬（実施計画について）

10月中旬（事業報告について）

Ⅲ. ねぶたの家ワ・ラッセ運営事業（青森市指定管理者）

1. ねぶたの家ワ・ラッセ運営事業

青森市文化観光交流施設「ねぶたの家ワ・ラッセ」の指定管理者として、ねぶたの伝承や後継者育成、地域経済の振興を目的に、ねぶたの展示・歴史紹介やねぶたに関する体験教室等を行う。

（1） ねぶた運営事業

- ①大型ねぶたの展示
- ②ねぶたホール、ねぶたミュージアムの装飾

- ③観覧者へのハネト体験の実施
- ④囃子教室の実施
- ⑤各種体験教室の実施
- ⑥ミニねぶた、中型ねぶた制作の実施

(2) 地域文化振興事業

- ①ホームページでの広報宣伝
- ②青森ベイエリア共通券の発行
- ③しみん SHOW（市民団体の発表会）の開催
- ④芸能ライブ、チャリティーライブの開催
- ⑤津軽三大火祭りねぶた・ねぶたぐる巡り 4館共通入場券の販売
（ワ・ラッセ、ねぶたの里、津軽藩ねぶた村、立佞武多の館）

(3) 企画展事業

- ①ねぶた学講座の開催
- ②ねぶた再利用の検討
- ③ねぶた下絵コンクールの実施
- ④もつけとじよっぱりの魂っこ展への協力

(4) 集客対策事業

- ①旅行社及び県外小中学校へのセールス活動の実施
- ②集客力強化の為の検討及び実施
- ③四季を通したイベントの強化

2. 維持管理運営業務

青森市文化観光交流施設「ねぶたの家ワ・ラッセ」の管理運営を行う。

(1) 施設維持管理業務

(2) 事務管理業務

《収益事業》

1. ねぶたの家ワ・ラッセ

(1) 貸室事業

施設内の貸室、イベントスペース貸与

(2) 駐車場運営事業

有料駐車場の管理運営

(3) テナント管理業務

お土産店・レストランの管理

①お土産：あおもりふるさとショップ「アイモリー」

②レストラン：魚っ喰いの田

2. 旅行業業務

各種旅行の提案及び宿泊斡旋業務による手数料収入を図る。

①旅券等の販売業務

②宿泊の斡旋業務

3. 会員サービス事業

組織強化のため、会員サービスを充実し、会員の維持、拡大を図る。

①コンベンションニュースの発行

②ねぶたカレンダーの発行

③会員増強運動の推進

4. 職員研修・観光交流事業

職員研修及び他都市コンベンション協会との情報交換によるスキルアップを図る。また、インバウンド事業促進を目的に近隣諸国との交流事業に参加する。

①旅行業研修への参加

②東北地区コンベンション推進協議会研修への参加

③先進観光地の視察研修

④交流事業参加